

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

7

2013 No.706

3 はじめの言葉

4 「かくさ」認識が産み出す

様々な社会現象

田原文夫

前号で較差と公平、平等感の欠如について述べたが、不公平、不平等を感じさせる原因とされる「かくさ」認識について、今一度触れてみたい。歴然として存在する「かくさ」というものを認識することで、その本質を捉え、社会的に「かくさ」として一般にイメージされていることが、どのような社会的現象の要因になっているかを考えてみたいと思うからである。「かくさ」に対するニュアンス、イメージが、日本／日本人と外国／外国人との間には大きな差があることに気付く。そしてこのことが、ものごとに対する認識かくさ／情報かくさを産み出していることが解る。当然にして国家間交渉、経済交渉においても大きな影響を与えている。特に「かくさ」そのものに対する認識の違いは、同じ日本人同士でも存在し、憲法改正問題に対する考え方にも大きな差異としてみてとれる。国民／国家のコンセンサスがなかなかとれない理由である。

10 情報社会を考える その34

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

信じられないアメリカ政府の暴走行為

個別企業の情報システムですら社会的情報システムネットワークを構成するコンポーネントシステムとして認識されるのは、今や当たり前のこととなっている。情報システムを活用する企業等組織は、あまねく今やネットワークを介した社会的存在であり、相互に情報社会インフラを構成する存在となっている。

Google、Yahoo といった検索エンジンサービスネット、FaceBook などのソーシャルネットワークサービス (SNS) は言うまでもない。社会的存在である。またネットワークインフラの構成要素である。

社会的存在であるゆえに、それぞれが社会的責務を負う形で行動する立ち居振る舞い (ビヘイビア) が求められている。

12 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-BIM 構築が必要か その 29

水田 浩

まちづくりの BIM:コンパクトシティ

コンパクトシティは東北圏のまちづくりを平成 22 年度から「東北発コンパクトシティ推進研究会」に改め、国土交通省東北地方整備局企画部広域計画課 <http://www.thr.mlit.go.jp/compact-city/>が事務局となって推進している。東北圏の現状は、以下のような課題を抱えている。

1 8 連載 アーキテクチャ論 (27) アジャイル開発とアーキテクチャ(3)

山本修一郎

これまで、2 回にわたって、アジャイル開発手法とアーキテクチャとの融合手法について解説した[1][2][3]。本稿では、重要安全ソフトウェアと安全論証に対する反復開発手法[4]について紹介する。

はじめに、重要安全ソフトウェアとリスク分析手法について説明し、次いで、アジャイル開発のためのアーキテクチャに基づく安全性の論証手法について紹介する。

2 5 国家レベルのセキュリティ論とそれに呼応する対応策(2)

aism

前号で、現政権の打ち出している「日本版 NSC（国家安全保障会議）」設置の動きと、それに呼応したセキュリティ対策のあり方について考えるべきだと指摘した。それは、我が国のこれまでのセキュリティ対策が、企業組織をベースにしたものであること、国家レベルでのセキュリティ論を想定した場合、あまりにも無防備だと指摘したかったからである。奇しくも、その懸念を現実的にしたかのようにアメリカ政府による情報収集／諜報活動の一端が表面化した。何と国／地方、企業、個人と幅広く活用されているネット上の検索エンジン／SNS 提供会社が、それに加担してきているという事実の公表だった。

2 9 ものの造れる日本再生に向けて その 22 第二／第三の創業へ

Dr.ベスト

1970 年代のオイルショック後の 1980 年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズ No1=No1 としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991 年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたリストラクチャリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

3 4 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 4 5 回 米諜報機関によるネット監視の衝撃

根本忠明

英ガーディアン紙は、今年 6 月 5 日、米 NSA（国家安全保障局）が米電話会社の通話

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2012年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの(得)広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300)
A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300)
A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港手続の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム乗組の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな乗組員
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍乗組所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港手続とハンタツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本乗組員日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 乗組員の一 直前、離れ、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、船となる三人組	第二十章 乗組員之二 安室乗組と北米センター乗組

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp